

単元指導計画

単元の名前 「アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立」

□単元の目標

リンカンの奴隷解放宣言は人道主義的理由だけでなく、連邦制を維持するという政治的側面があったことをさまざまな資料から読み取り説明できる。また、ラテンアメリカは合衆国と同じく白人が独立を主導したが封建的地主制度がのこり、工業化が進まなかったことが理解できる。

□単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
・なぜアメリカ合衆国は世界をリードする経済大国となったのかを、移民や奴隷制と関連付けながら意欲的に考え、追究しようとしている。	・リンカンが記者にあてた書簡や実際の奴隷解放最後布告などの資料をもとにしながら、奴隷解放宣言が出された理由と、その後のアメリカ合衆国の発展について多角的・多面的に考察し、自分の考えを表現できる。	・リンカンの演説文や地図資料の中から、有用な情報を適切に選択し、アメリカ合衆国の発展をとらえる際の判断材料として適切に役立てている。	・先進国となったアメリカと、工業化がおくれ発展途上国が多いラテンアメリカの歴史的な過程について、基本的な知識を身につけている。

□指導と評価の計画

次 程	学習活動	評価の観点				評価規準等
		関	思	技	知	
第 一 次	アメリカ合衆国の拡大 ・アメリカ合衆国の領土が建国当時と比べ拡大し、大陸国家になっていった過程を理解する。 ・なぜ領土の拡大が二つの人種迫害につながるのかを考察する。	○			○	【関】 地図や絵画資料から、アメリカが領土をどのように拡大していったのかということに興味をもち、発言できる。 【思】 南部と北部で奴隷制のとらえ方が異なっていた理由を、それぞれの産業の違いをもとに考察し説明できる。
第 二 次 本 時	南北戦争と奴隷制 ・なぜリンカンは奴隷解放宣言を出したのかをさまざまな資料から考察する。		○	○		【思】 リンカンが奴隷制度をどのようにとらえていたのかについて考察し、他人の意見を踏まえて自分の言葉で説明している。 【技】 自分の考えのよりどころとなる部分を資料から適切に抜き出し、解釈の判断材料としている。
第 三 次	アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 ・リンカンのアメリカ合衆国分裂を阻止した政治的判断によって、現在の先進国としての基盤を築いたことを理解する。 ・ラテンアメリカの独立は、アメリカ合衆国の発展と比べどのような違いがあったのかを考察する。		○		○	【知】 南北戦争後、分裂の危機を脱したアメリカ合衆国では大陸横断鉄道が結ばれ、世界一の工業国になったことを理解している。 【思】 ラテンアメリカの独立は白人によってなされたため、独立後も白人による権益の独占が続いたことを説明することができる。

学 習 指 導 案

日時	令和元年12月11日(水) 第5限	指導クラス	3年H組 (男子13名、女子19名)	指導者	
教科(科目)	世界史A	単元名	アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立		
教科書	世界の歴史(山川出版社)		副教材	なし	
本時の主題	南北戦争と奴隷制			本時 (1時間目 / 1時間)	
本時の目標	リンカンの奴隷解放最後布告と記者にあてた書簡から、奴隷解放宣言の本来の目的は南北戦争に勝利し、連邦の分裂を防ぐことにあったことを読み取り説明できる。				
評価規準	思考・判断・表現			資料活用の技能	
	リンカンが奴隷制度をどのようにとらえていたのかについて考察し、他人の意見を踏まえて自分の言葉で説明している。			自分の考えのよりどころとなる部分を資料から適切に抜き出し、解釈の判断材料としている。	
指導の内容・ねらい	学 習 活 動			指導上の留意点・観点別評価	
<p>【導入】15分</p> <p>○本時の課題追及に対する動機付け。</p> <p>○本時の目標の提示。</p> <p>【展開】25分</p> <p>【まとめ】10分</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">Q1 領土が拡大したアメリカでは、大陸の南北の間である問題が生じていた。それは何か？</p> </div> <p>○生徒を適宜指名しながら復習</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">Q2 リンカンが奴隷解放宣言を出したあと、黒人奴隷は本当に解放されたのか？</p> </div> <p>○実際の奴隷解放宣言の文章の一部を読み、実際の宣言で奴隷たちはどのような権限を与えられたか読み取る。 ○奴隷解放宣言後の写真(白人用と有色人種用に分けられた水飲み場や自動販売機)や黒人取締法などから宣言後の様子を読み取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">MQ なぜリンカンは奴隷解放宣言を出したのか</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">Q3 イリノイ州での演説(大統領就任前)のAとBの文章から、リンカンが奴隷制についてどのように考えていたのか考えよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">Q4 奴隷解放宣言を出す約4か月前に記者のホレス・グリーリーにあてた書簡からリンカンが考える奴隷解放の目的とは何か考えよう。</p> </div> <p>○奴隷解放そのものは目的ではなく手段であり、連邦(ユニオン)を救うことが本来の目的であることを読み取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">Q5 Q2で示していなかった奴隷解放宣言の続きを読み、「連邦を救う」とはどういうことかを考えよう。</p> </div> <p>○合衆国の軍隊に黒人奴隷たちを服務させ、南北戦争に勝利をすることが連邦を救う道であることを読み取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">MQ なぜリンカンは奴隷解放宣言を出したのか</p> </div> <p>○MQに対する答えを自分なりの言葉でまとめ、発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">次回に向けて Qリンカンの奴隷解放宣言によって本当に連邦は救われたか？</p> </div>			<p>○個人で活動。ワークシートに読み取れたことを書き出し発表させる。</p> <p>○グループで活動。 ◎書簡のどの部分からどのようなことが読み取れたのかを説明できる。【思】【技】 ※AとBの資料中の言葉や主語などをあらかじめ説明してから読み取らせる。 ○プロジェクターで文章を白板に投影し、生徒に根拠を示させる。 ○プロジェクターを使い、地図を投影しながら、年表を板書し、資料の時系列を明確にする。</p> <p>○ここまでの取り組みの成果としてMQに対する答えを自分の言葉でまとめることができる。 【思】</p>	